

出穂期は「はえぬき」8月2日、「つや姫」8月9日の見込み

出穂後のきめ細やかな水管理を徹底し 登熟向上を図りましょう！

1 出穂の状況

出穂期は、生育診断圃「はえぬき」で7月30日（平年8月3日）、「雪若丸」で8月2日（平年8月4日）となり、「つや姫」では8月8日頃（平年8月10日）と見込まれます。

表1 管内平坦部の出穂盛期・見込み（8月2日現在）

品種	出穂盛期・見込み	品種
ふくひびき	ひとめぼれ・はえぬき・雪若丸	つや姫
7月29日	8月2日	8月9日頃

2 今後の気象予報

1か月予報（仙台管区气象台・7月28日発表）によると、気温は高い確率70%と予想されています。直近の天気予報では、8月3日からは雨の日が多く、最低気温（夜温）が高い見込みとなっています。

3 これからの水管理 ～時期に合わせたきめ細やかな水管理を！～

出穂・開花期は稲体が最も水を必要とする時期です。出穂直前～穂揃期（7日間程度）までは2～5cmの水深で湛水状態を維持しましょう。

穂揃期以降は間断灌水（2湛2落）や飽水管理を行い、酸化的な土壌条件で根の活力を維持しつつ、登熟を促進しましょう。異常高温や高夜温が続く場合は冷たい水との入れ替えを行い、水温・地温を低下させましょう。

出穂後に強風やフェーンに遭遇すると、白穂や枝梗枯れ等が発生する可能性があります。強風が予想される場合は湛水し稲体を保護しましょう。

4 斑点米カメムシ類の発生量「多い」！

病害虫防除所より、斑点米カメムシ類の発生量は「多い」として、7月21日に注意報第1号が発表されています。各地域の出穂状況に合わせて、穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回の基本防除を徹底してください。



これからも暑い日が続きます！
無理はせず水分、休息をしっかりととりましょう！